

第6回 第14期小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 平成27年8月18日（火）午後6時30分～午後8時30分
- 開催場所 中央公民館 2階 講座室1
- 出席者 椎名委員、山田委員、松根委員、佐野委員、田中委員、千葉委員
川島委員、菊地委員、丹治委員、根津委員（順不同）
- 傍聴人 あり（1名）
- 議題 (1) 第14期の検討課題について
(2) その他
- 配付資料 (1) 第6回 第14期小平市緑化推進委員会次第
(2) 緑化推進計画提言 改訂（案）（資料1）
(3) 小平第四小学校 玉川上水・用水関係授業（資料2）
(4) 小平市の用水を知ろう（資料3）
(5) 市内における用水の溜めと構造を説明した用水路図（資料4）
(6) レンタサイクルシステム他市事例（資料5）
(7) 雑木林の活用及び開放についての他市事例（資料6）
(8) 石神井川源頭についての資料 5部（資料7）
(9) 水車資料 2部（資料8）
(10) こだいら名木百選マップ（資料9）

会議の要旨

委員長

まず事務局より、資料の確認及び説明をお願いします。

事務局より、資料の確認と説明があった。

説明後、次のとおり質疑や要望等があった。

委員

資料2についてであるが、これはいつ撮った写真か。

事務局

平成26年度のものである。

委員

連携しているのは、先程話があった小平第四小学校だけか。

事務局

他の学校等で行っているということは把握していない。

委員長

各学年で行っているということだが、学年全員参加なのか。玉川上水では難しいと思うが、新堀用水で危険の伴わない範囲で行う分にはよいと思う。

事務局

そこまでは把握していない。各学年で別々の内容の取り組みを行っている伺っている。クラスの中でも、選択ができるような形で行っているということである。

委員長

上宿小などでそういった取り組みができる可能性があると思う。小川用水もすぐそばに流れている。提言をまとめる上で、そういった取り組みについても盛り込んでいく必要があると思う。

委員

資料5のレンタサイクル事業の他市事例の課題ということで話があったが、アンケートはいつどのような方法で行ったのか。また、グリーンロード沿いに小平駅や萩山駅、花小金井駅があるので、そういった場所を活用すれば効果的ではないかと思った。

事務局

平成17年に行った調査で、観光の推進ではなく、放置自転車の減少を目的として、レンタサイクルについて検討を行い、その結果、採算が見込めず他の方向へシフトチェンジしていったということであった。そういった観光の面からであれば、再検討の余地はあるのではないか。

委員長

今から10年前の話なので、今はどうかかわからない。レンタサイクルにより小平の魅力が最大限だせるかどうかである。また、アンケートは誰を対象に行ったものか。

事務局

主に新小平駅の利用者を対象に行ったものである。

委員長

資料6の「こどもの森」というのは雑木林に隣接しているのか。

事務局

隣接している。

**委員長より、資料1の緑化推進計画提言 改訂（案）について、説明があった。
説明後、質疑や修正事項について、次のような議論があった。**

委員長

資料1の中の、下線部分が前回からの修正・加筆部分である。

P4 2（仮称）鷹の台水車公園「水車復活」事業の推進について、作成に必要な、資料8を用意しましたので、それを参考にして、委員の方に、絵を描いていただきたい。ここの図面についても、委員の方に書いてもらいたい。平面図や立面図があれば描けるのではないかと思う。

P4 3（仮称）中島町「雑木林特区」の創設について、薬用植物園付近の雑木林、野火止歴史環境保全地区等を想定しているものである。小平市の場合は、樹林地への立入りに関して、特に規制はないのか。

事務局

保存樹林は原則立入り禁止である。

委員長

P4 4用水路を利用した水生生物採集のできる「用水路特区」の新設については、新しく加えた箇所である。学校教育の中で、そういったことを利用していくのは一つの手であると思う。ここに限らず、内容について、委員の皆さんに意見をもらい、修正するところは修正し、加筆する箇所は議論しながら加えていきたいと思う。

委員

P6 11市民による「おもてなし」計画の推進の部分の一例の中で、平櫛田中彫刻美術館やなかまちテラスも加えてみてはどうか。

委員

P4 2 (仮称)鷹の台水車公園「水車復活」事業の推進について、6行目の「継承していく義務があります。」という文言の「義務」という言葉は、少し重いような気がする。

委員長

「必要」がある。という文言に修正したい。すべて強めの表現になっていると思う。

委員

P4 3 (仮称)中島町「雑木林特区」の創設について、5行目の「多様な自然を具体的に体験できる…」とあるが、多様な自然を維持していかなければ体験することはできないので、「維持しながら」という文言をいれてはどうか。雑木林の維持なくして、体験はない。特区を設けるということは、雑木林の多様性を維持し、保全していくことが前提である。

委員

市で様々なパンフレットがあるが、実際にそこに行って歩いてみようと考えると、実際どのくらい時間がかかるのか、何キロあるのか、近くに昼食場所はあるのか、市の仕事ではないかもしれないかもしれないが、そういったマップを玉川上水やグリーンロード沿いを中心につくることはできないか。

委員長

P4 1 小平上水・用水・雑木林名所案内マップの創刊の中に盛り込んでいて、今言った内容をここに文章としていければ、実現の可能性はあるのではないかと思う。

委員

ゾーンマップのようなものであると思う。コース1、コース2というように駅単位で分けて作成するとよいのではないかと思う。

委員

じっくり散策しながらグリーンロードをまわってみると、5日くらいかかった。名木等も含めて散策するとそのくらいかかる。2日目は電車に乗って、指定の区間を散策するような形で、ゾーンで区切って歩いたことがある。

委員

P4 4用水路を利用した水生生物採集のできる「用水路特区」の新設の部分で、生物の種類が書かれているが、ここにあるものはちゃんと生息しているのか。確定的なものだけ示せばよいのではないか。ホテルの飼育をしていたときに、他の生物が入り込んだ可能性がある。

事務局

実際にどんな生物が生息しているかは、把握していない。

委員長

メダカはいないかもしれない。ムツゴやヌマエビは生息していると思う。具体的なものは、確かにわからない。

委員

用水で採集した生き物を水槽などに入れて、展示したりという話が以前でていたが、用水にどんな生物がいるか一度調査していく必要があると思う。

事務局

みどりの基本計画が平成33年に改定予定であるが、生物多様性をみどりの基本計画に何かしらの形で位置づけられないかという話があった。将来改定を行うときに、用水路や雑木林にどんな生物がいるか、費用だけでなく、時間を要するものだが、なにかしらの形で調査を行う作業が生じてくると思う。

委員長

生物多様性を守るということは、その生物が将来に対して、何かしら人類にとって役に立つような、重要な位置づけになってくるものもあると思う。

事務局

水車公園について、産業振興的なものに着眼されているが、野草も豊富にあり、管理も配慮を行っているところが多いので、自然保護や環境についての文言もいれられたらなおよいのではないか。

委員長

全部の雑木林がそうなるのは難しいと思うが、モデルとなる雑木林とその林床となるものを保全していくということは重要なこと。

委員

小平の原風景を保全していくのは重要なこと。そういった文言でもよいと思う。

委員

自然環境保護の「保護」というのは現状維持ということであって、それを増やすということを行っていかなければならない。それが重要である。

委員長

抽象的な言葉ではなく、具体的な言葉をいれなければならない。例えば、キツネノカミソリがいつ咲くであったり、自然は人間が手を入れているから管理をされている場所が多くある。具体的な文言を盛り込んでいきたい。

委員

図面があれば水車の公図は描けるとは思う。昔のとおり水車公園を復元するとなると用水上流、下流に関わらず、用水沿いの雑木林を壊さなければいけない可能性も出てくる。場所は特定しないで、公図を作成し、絵を描けば問題はないと思うが、実現性は低いと思う。

委員

水車を復元したいという考えはあると思うが、当初の話では、場所を特定しないということが前提だったと思う。それを前提に作っていけばよいのではないかと思う。

委員

水車の10分の1の模型があると聞いたことがあるが見ることができるか。

委員長

写真を探してもらって、平面図か写真があれば書けるのではないかと思う。両方あればなおよい。ぜひ、水車の図面と絵は形にしていきたいと思う。そこまで厳密でなくてもよいと思う。

委員

インターネットで検索すると何件か写真のようなものがヒットする。

委員

P1 今を生きる我々が後世に継承すべき義務という部分で、3行目の「市域の外周を取り囲むネックレスのような…」という文言があるが、そこに、「市域の外周を取り囲むエメラルドネックレスのような…」のように、「エメラルド」という文言を盛り込んでみてはどうか。ボストンの都市計画で周囲をみどりで取り囲むといった文言が使われているのを見たことがある。

委員長

グリーンロードという名前も確かによいと思うが、取り囲んでいる感じが足りないのではないかと思う。エメラルドネックレスという文言を副題にいれてもよいと思う。イメージが湧きやすい。

また内容の件でなにかあれば連絡していただければと思う。次回、平面図を描いてもらって、それを委員のみんなで見、その次に絵を描いてもらい、形にしていきたいと思う。

以上